

第2回委員会での主な意見 (議題4 座間市立小・中学校の適正規模について)

観 点	意 見
<p>[小学校] 1学年2クラス (12学級校) について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●メリット <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>融通も効く</u>し、全学年体育館に入ろうといってもさっと入れる人数。 ●デメリット <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化する。</u> ・ <u>クラス替えで人間関係で分けるのにはどうしても限られてくる。</u> ・ <u>36人で2学級だといいが、1人減ると35人で学ぶことになり子どもにとって激変が起こる。</u>先生は大変だし、人数は減らされるため、1学年2学級を適正とするのは危ないと思う。 ・ ひばりが丘小学校の場合には<u>教職員1人が2つ以上の校務を持ち、退勤時刻などにも差が出ている。</u>
<p>[小学校] 1学年3クラス 以上 (18～24学級校) について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●メリット <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間関係という意味では、<u>幅広く人間関係が築ける。</u> ・ <u>児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しにくい。</u> ・ 多様な意見に触れる機会が得やすい。 ・ 学校行事や体育等の集団で行う活動が活性化される。 ・ クラス替えで人と人との関係性を考えたときに、<u>どうしても分けないと本人たちにとってもよくない場合に、分けきれるのは3クラスから4クラス。</u> ・ <u>1学年3学級位だと、激変リスクが減る。</u> ・ 座間小学校だと教職員が50人近く居るので、教職員の校務を、1人1つずつ担当すれば済む。 ・ <u>多くの先生がいる中で、経験年数や専門性とのバランスが取れた職員配置がしやすい。</u> ●デメリット <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>理科室や図工室の割り当てを予備がない中で進めないといけない。</u> ・ 全校朝会をするにしても出入りを含めて何十分も掛かり、<u>無駄な時間も発生してしまう。</u> ・ <u>多すぎると人間関係が希薄になる所が多い。</u>
<p>学級数について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きすぎるもの、小さすぎるものにはメリット、デメリットがあり、<u>1学年3～4クラスが適正</u>かなと思う。 ・ 3クラスというのは適正に見えるが、教員目線では紅白での組み分けなど奇数の学級数は扱いにくい。やりやすさは4クラスの方がある。 ・ 18から24学級を目途にというのは適正だと考える。 ●中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>最低が1学年4学級</u>、1学年5学級までだとスムーズにいくと思う。もちろん、建替えがあつて十分に教室が確保できればその限りではないとも思う。 ・ <u>1学年4学級だとちょうど、いわゆる5教科が学年で時間割が回せる。</u>それよりも少なくなったり多くなったりすると、学年を掛け持ちをしなくてはいけないことが多くなる。

観 点	意 見
1学級あたりの 人数について	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 30年後には30人学級になる可能性があると思われる。その場合に、今の学校の規模でなければ足りないという感じにならないか。 ●中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 30人から35人まで。できれば25人までで少なければ少ないほどいい。まず、中学生の体格が変わっている。大型モニターやタブレット保管庫も入っていて、教室にスペースがなく授業参観で保護者が入らないこともある。 ・ 1人の担任が40人を指導するのは難しい。そして、定時に帰るようなことはできない。人数が少なければ少ないほど手厚くできる。 ●全体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学級の児童生徒数や教員配置は国や県の基準があり、自由にならない。 ・ <u>30人学級というのは本当にできるかわからないし、一方で、おそらく30人学級ができるより前に学校の小規模化が起きる。少なくとも、10数年の間には30人学級にはならないと思う。まずは建物の教室の数ではなくて、子どものいる教室が何学級あるのかという観点で議論した方がいい。</u>
施設面	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>「ある程度クラスの人数が少なくなった場合でも対応できるように施設を整備する」という方針は必要かもしれない。</u>